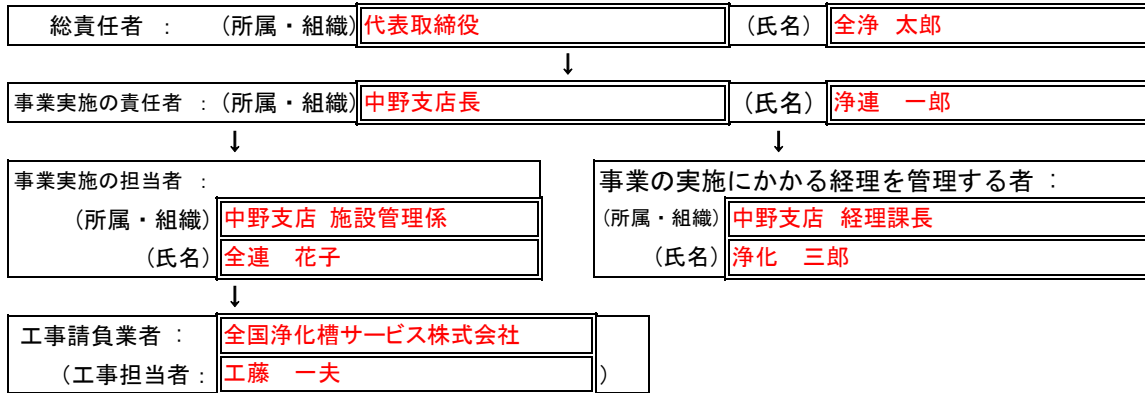


3. 事業の実施体制

事業実施の体制(指揮系統・命令系統等)をフローチャートで図示



4. 事業の内容とその効果

事業の内容・二酸化炭素削減効果とその費用対効果

別添「二酸化炭素削減効果計算表」の通り

今回申請する事業が該当する場合に、実施年度・対象機器・台数を記入する。実績が無い場合は「無し」と記入。

5. その他各事項

当該案件における過年度補助事業の実績有無

※ 過去に二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金による補助事業を実施した実績がある場合は、実施年度・対象機器・台数を記載すること。

令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金にて調整ブロウを1台更新

導入する設備の保守点検計画

保守点検業者(日本浄化槽サービス株式会社)により2週に1度、点検作業を実施

事業に要する経費に係る資金計画及びその調達先

自己資金

同の補助金への他応募状況

(2)事業を実施する場合は、浄化槽工事業者名及び登録番号、浄化槽設備士名及び設備士番号を記入。

無し

(1)事業を実施する場合は、「無し」と記入する。

事業実施に必要な許認可、権利関係等

浄化槽工事業者: 全国浄化槽サービス株式会社 東京都知事(届-60)第000号
 浄化槽設備士: 工藤 一夫 第012345678号

注1 本計画書に、「(2)先進的省エネ型浄化槽への交換事業」を計画する場合は、1.浄化槽設置届の写し、2.型式適合認定書別添仕様書及び図面(工場生産型浄化槽の場合。それ以外の浄化槽の場合には設計計算書、機器表及び図面(構造図、制御盤回路図))、3.浄化槽工事業者登録申請書又は特例浄化槽工事業者届出書の写し(公印押印済み)、4.浄化槽設備士免状の写しも共通必要書類に加えて付すこと。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。